

「INSHO EXPOSITION ～天才!! 印象ワールド～」開催

＜2016年10月6日(木)～12月25日(日)／堂本印象美術館＞

堂本印象生誕125年記念にあたり、日本画だけではない多彩な印象の才能にスポットをあてた作品の特別企画展「INSHO EXPOSITION ～天才!! 印象ワールド～」を府立堂本印象美術館で開催します。

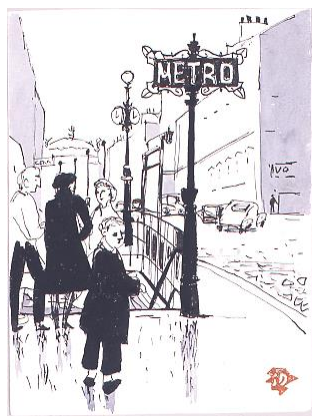
大正から昭和にかけて京都で活躍した日本画家・堂本印象は、日本画だけでなく、油彩による家族の肖像画シリーズや、旅先の風景を描いたペン画、茶道具類の絵付けから豪華婚礼衣装の下絵までジャンルを超えた様々な作品を手がけました。1966年（昭和41）に開館した美術館も印象自身によるデザインです。

本展では、印象の知られざる工芸品や商品デザインなど様々な作品を入り混ぜ、その多彩で華やかな活動の軌跡を紹介します。

なお、今回の展覧会を以て、当館はリニューアル工事のため休館期間に入ります。



故父 1924年



オペラ通り



松桐風文様振袖



茶釜地中海



日本酒酒瓶



日本酒酒瓶



道程

概要

- 【日時】 2016年10月6日(木)～12月25日(日) 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
 毎金曜日は夜間開館(19時30分まで延長、入館は19時まで)
- 【会場】 京都府立堂本印象美術館
- 【休館日】 月曜日 [但し、10月10日(月・祝)開館・10月11日(火)休館]
- 【入場料】 一般500円(400円) 高校・大学生400円(320円) 小・中学生200円(160円)
 ※ ()内は20名以上の団体料金
- 【主催】 京都府、京都府立堂本印象美術館(指定管理者:公益財団法人京都文化財団)他

《堂本印象について》

堂本印象は、1891年(明治24)京都に生まれました。1910年(明治43)に京都市立美術工芸学校を卒業すると龍村平蔵の工房で図案制作にたずさわりましたが、日本画家になることを目指し、1918年(大正7)に改めて京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)に入学しました。そして、翌年には早くも第1回帝展に初入選し画壇に登場します。その後も西山翠嶂に師事し、次々と話題作を発表して画壇に確固たる地位を築きました。また、画塾東丘社を主宰、母校の京都市立絵画専門学校で教鞭を執り後進の指導にも尽力しました。1961年(昭和36)には文化勲章を受章し、1975年(昭和50)に没するまで近代日本画の発展の一翼を担いました。

《内容に関するお問い合わせ》

京都府立堂本印象美術館 担当:山本 TEL:075-463-0007 FAX:075-465-3099

※原稿の校正、画像データの利用等につきましては、上記窓口までご連絡をお願いいたします。

主な展示作品



松桐鳳凰文様振袖 **本展初出品**

(三つ襲ねのうち)

大正時代 北村美術館

「竹牡丹文様振袖」「梅鶴文様振袖黒」とあわせた黒赤白の豪華な婚礼衣装。印象が図案のデザインを手がけている。



日本酒酒瓶 **本展初出品**

京都府立堂本印象美術館

日本酒「多聞」のデラックス瓶、ラベル、パッケージ等のデザインを印象が手掛けている。

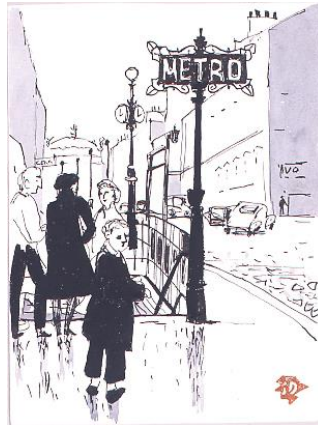
印象が奈良県信貴山の襖絵を描いている縁で、当時の多聞酒造社長から依頼があったもの。



故父 1924年

京都府立堂本印象美術館

日本画、油彩画による堂本印象の家族の肖像画シリーズ。本作は印象の父を描いている。約10点を展観予定。



オペラ通り

(『美の覚音』挿絵原画)

1952年

京都府立堂本印象美術館
印象が渡欧した際の紀行文として帰国後に出版された『美の覚音—ヨーロッパ美術紀行—』の挿絵原画。



松 (ふろしき原画) 1972年頃

宮井株式会社

ふろしきの老舗、宮井株式会社が所蔵する原画。晩年の印象による抽象画である。

1952年の展示会で披露された印象の原画は、著名画家への原画依頼の皮切りになったという。



左：男之助 1916年、中央：茶釜地中海 1961年、右：道程 1968年

いずれも京都府立堂本印象美術館

工芸デザインも手がけている印象。絵付けから、すべてが本人制作による作品もある。